

# テーマ「出会いの場を検討しよう」

## ①前回の振り返り



第一回ワークショップでは、架空のキャラクターを設定し、客観的立場から當麻磐城エリアでの活動と、そこから生まれるまだ知らない人やものとの出会いの可能性を考えました。新しい複合施設が、私たちの行きたいと思う「場」になれば、まちはもっと元気になる可能性が高いと感じました。

未来の葛城市は  
みんなのもの！

## ②「場」と「こと」



自然と人が集まる魅力的な施設（＝場）にするために必要な「こと」とはなにか。立派な建物が完成しても、使いたいと思う人がいなければただのハコになってしまいます。自分たちの活動や思いを考えることで、市民に真に求められる「場」を考える作業でした。

第二回 11.13【SUN】 14:00～17:00



## ③「こと」×「こと」 ＝相乗効果



作業2で整理した「こと」は相性の良い組み合わせで相乗効果生まれるのではないかと。使い方や自由度を工夫することで、今までにない「出会いや発見」が見つかりました。「休憩スペース」×「ストリートピアノ」＝「小さなサイタル」！？

全国の複合施設の事例から班ごとのイメージに最も近い写真を選び、各班の施設像を想像しました。事例を知ることで具体的なイメージが浮かび始めました。

④公共施設での「出会いや発見」

第三回テーマ  
「施設機能案を検証しよう」

日時  
12月11日(日) 14:00～17:00

場所  
當麻図書館

※第二回ワークショップ  
参加者数は”37名”でした。

次回ワークショップ

## ⑤グループ発表！



ワークショップの最後には、各班で検討した魅力的で自然と人が集まりたくなる複合施設のイメージとその概要の発表を行いました。各班で考えた施設像には共通した想いも多く、これからの時代にあるべき公共施設の姿が共有できました。

葛城市に新しい魅力を創造する。

これまでの歴史とこれからの歴史、みんなが葛城市を考えるワークショップ。